

TTC ゆった〜り山行実施記録表

2014年 11月 1日 報告者:菊地友弥

山行名	紅葉の塩原溪谷と大沼園地を歩く [栃木県/新湯富士 1184m]						
実施日	2014年 10月 30日[木]~31日[金]1泊2日	ハイエース利用					
天候/ 参加人員	天候:10/30 快晴 10/31 晴れ レベル:★★ 参加者:申込 12名/実施 12名(男性 1名/女性 11名)						
パーティスタッフ	計画/CL:、SL:、会計:、救護:、写真:	スタッフ名削除					
参加メンバ	A 班☆ B 班☆	参加者氏名削除					
費用 14,700/一人 合計:176,400	《内訳》ハイエースレンタル:32,760 燃料代:13,000 ドライバー謝礼:38,000 宿泊代:@5,900×13=76,700 高速代往き:5,980 帰り:4,270 通信費:1,000 吊橋通行料:シルバー200×9=1,800 大人:300×3=900 支出合計174,400 集金176400-174400=1990 残金:1,990円をTTCカンパ金としました。						
歩行/行動時間	10月30日(木)			10月31日(金)			
	所要時間	歩行時間	休憩時間	行動時間	歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイドブック		-	-	3:30		
	計画	3:10	0:50	4:00	4:30	1:30	6:00
	実行	2:38	0:34	3:10	3:31	1.24	4:55

実行コースタイム記録

	蓮田 SA 休憩	道の駅休憩	80	昼食	48
10/30	厚木 IC	====西那須野・塩原 IC	====新湯温泉神社登山口	-----新湯富士山頂	-----大沼登山口
	6:35		10:50 11:00	12:20 12:54	13:42
12			18		
	-----大沼湿原 (大沼周遊は橋が壊れて歩行禁止のため中止)	-----	駐車場	====ニュー八潮ホテル (宿泊)	
	13:54		14:12	14:30	
	10	5	52	28	19
10/31	ホテル	====天皇の間駐車場	-----福渡橋 (やしおコース入り口)	-----布滝見晴台	-----箒川ダム P
	8:45	8:55	9:00	9:52 9:55	10:23
		16	昼食 45	36	5
	大沼園地 (回顧コース入り口)	-----留春の滝展望地	-----663m見晴らし台	-----回顧の滝展望台	-----蝦蟇石 P
	10:42 10:54	11:10 11:50	12:35 12:44	13:20 13:25	13:30 13:40
10					
	---もみじ谷吊橋 P (もみじ谷吊橋渡橋)	====西那須野・塩原 IC	====羽生 SA	====港北 SA	====本厚木駅
	13:50 14:20	14:45	16:00 16:20	17:40 17:50	18:30頃

コースの概要、特記事項、反省事項等

塩原の空は雲ひとつ無い青空が広がって絶好のハイキング日和になった。紅葉真盛りのもみじラインを通過してほぼ予定の時間に新湯温泉神社に到着、硫黄の匂いが漂い山裾の岩場から湯煙り上がっている。この地の標高は939mなので新湯富士の山頂まで245mの登りである。この付近の紅葉は見頃を少し過ぎたようだ。明るい森林帯のゆるやかな登山道をゆっくり登る。鮮やかな紅葉に歓声をあげおしゃべりは尽きない。今日のメンバは男がCL 只一人、あとの11名は気心の知れた女性メンバなので気を使わずにすみ、時々後ろを振り返って見るだけだ。暑くなく、寒くなく、真っ青な空に映える紅葉のトレイルはまさに癒しのハイキングだ。山頂近くになると急登になり周りは赤松やもみの木に変わる。山頂は狭く眺望がない。先行した外人さんに頼んでカメラのシャッターを切ってもらおう。昼食を済ませて下山に掛る。ゴツゴツの石を敷いた階段状の道だが不規則な段差でしっかり見据えて歩かねばならないので気が抜けない。階段状の道が終わって間もなく大沼の登山口に到着となる。色づいたヨシの湿原に立って登ってきた山を見ると確かに富士の形に見える。富士山と呼ばれる謂れにガッテン。先に進むと沼に掛った木道が水没して通行不可になっていたののであきらめて駐車場に向かう。誤算だったが時間的には予定の時間で終了となった。格安料金のニュー八潮ホテルは食事を含め充分満足できる内容であった。夕食後1時間ばかり部屋で歌声喫茶ならぬ懐かしい歌をドライバのIさんとCLのハーモニカ伴奏で合唱し秋の夜長を愉しむ。翌朝は8時45分に出発、福渡の橋を基点に紅葉谷の駐車場まで約8kmの距離を溪谷に沿って下る。「やしおコース」は福渡から箒川ダムまでの3.7kmのコースで途中に「不動の湯」と云う名の露天風呂や吊橋、布滝と呼ばれる見処がある。基本的には下りの道だがアップダウンがあり変化に富んでいる。箒川ダムから紅葉谷吊橋まで4kmが「回顧コース」と呼ばれている。最初の見所は「留春の滝」である。吊橋を渡ると観瀑台があり樹間から流れ落ちる密やかな滝である。ここで昼食を摂り、山をひとつ越えて回顧の滝へ向かう。きつい登りの山越えで春にはアカヤシオの花で山が薄紫になるという。回顧の滝は落差が55mあり塩原10名瀑のひとつだそうでここまで来ると観光客が多い。長さ100m、高さ30mの回顧の吊橋から眺める景色は随一である。この吊橋を渡り急な階段を登ると蝦蟇石園地の駐車場に出てコースの終わりとなる。希望で塩原ダムに掛る有料の大吊橋320mを渡る。湖岸の紅葉が美しい。天候に恵まれ親睦を更に深めて無事に終了、感謝です。